

2021年7月29日

2022年3月期第1四半期 決算説明会

代表取締役社長
谷本 秀夫

(注)2022年3月期より事業セグメント区分を変更しています。この変更に伴い、2021年3月期の事業セグメントの経営成績についても同様の区分に組み替えて表示しています。

2022年3月期第1四半期 決算概要

(単位：百万円)

	2021年3月期第1四半期		2022年3月期第1四半期		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
売上高	317,094	100.0%	420,712	100.0%	103,618	32.7%
営業利益	7,574	2.4%	32,376	7.7%	24,802	327.5%
税引前利益	30,411	9.6%	54,476	12.9%	24,065	79.1%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	22,380	7.1%	40,760	9.7%	18,380	82.1%
設備投資額	26,458	8.3%	34,199	8.1%	7,741	29.3%
有形固定資産 減価償却費	17,065	5.4%	20,510	4.9%	3,445	20.2%
研究開発費	17,355	5.5%	20,106	4.8%	2,751	15.9%
平均為替レート	ドル	108円	109円			
	ユーロ	118円	132円			

(ご参考) 2022年3月期第1四半期 為替変動による影響額 (前年同期比): 売上高 約+130億円
 税引前利益 約+45億円

売上高は半導体関連市場等の主要市場での需要増を背景に大幅に増加し、Q1として過去最高を更新

2022年3月期第1四半期 事業セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2021年3月期第1四半期		2022年3月期第1四半期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
コアコンポーネント	90,921	28.7%	116,576	27.7%	25,655	28.2%
産業・車載用部品	29,617	9.4%	40,531	9.6%	10,914	36.9%
半導体関連部品	56,124	17.7%	69,724	16.6%	13,600	24.2%
その他	5,180	1.6%	6,321	1.5%	1,141	22.0%
電子部品	54,398	17.1%	76,779	18.3%	22,381	41.1%
ソリューション	173,411	54.7%	228,017	54.2%	54,606	31.5%
機械工具	44,254	14.0%	61,882	14.7%	17,628	39.8%
ドキュメントソリューション	60,058	18.9%	86,036	20.5%	25,978	43.3%
コミュニケーション	49,737	15.7%	55,257	13.1%	5,520	11.1%
その他	19,362	6.1%	24,842	5.9%	5,480	28.3%
その他の事業	3,757	1.2%	6,044	1.4%	2,287	60.9%
調整及び消去	-5,393	-1.7%	-6,704	-1.6%	-1,311	-
売上高	317,094	100.0%	420,712	100.0%	103,618	32.7%

2022年3月期第1四半期 事業セグメント別利益

(単位：百万円)

	2021年3月期第1四半期		2022年3月期第1四半期		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
コアコンポーネント	4,551	5.0%	11,006	9.4%	6,455	141.8%
産業・車載用部品	-90	-	4,229	10.4%	4,319	-
半導体関連部品	5,623	10.0%	7,351	10.5%	1,728	30.7%
その他	-982	-	-574	-	408	-
電子部品	2,177	4.0%	11,456	14.9%	9,279	426.2%
ソリューション	2,636	1.5%	15,324	6.7%	12,688	481.3%
機械工具	2,631	5.9%	7,833	12.7%	5,202	197.7%
ドキュメントソリューション	1,809	3.0%	6,637	7.7%	4,828	266.9%
コミュニケーション	1,697	3.4%	2,100	3.8%	403	23.7%
その他	-3,501	-	-1,246	-	2,255	-
その他の事業	-633	-	-3,473	-	-2,840	-
事業利益 計	8,731	2.8%	34,313	8.2%	25,582	293.0%
本社部門損益等	21,680	-	20,163	-	-1,517	-7.0%
税引前利益	30,411	9.6%	54,476	12.9%	24,065	79.1%

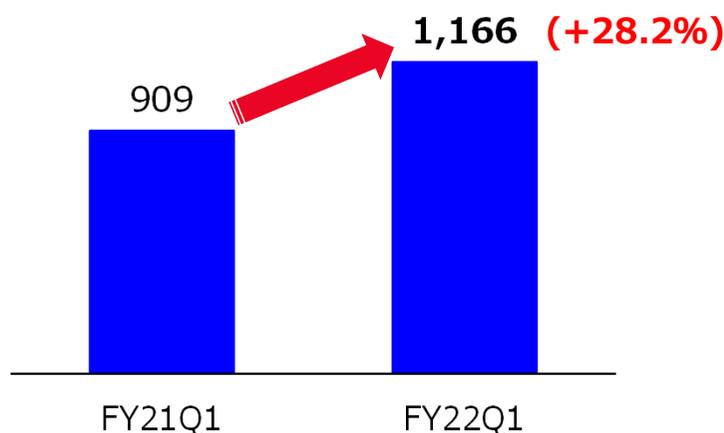
2022年3月期第1四半期 事業セグメント別業績

(1) コアコンポーネント

売上高

() 前年同期比増減率

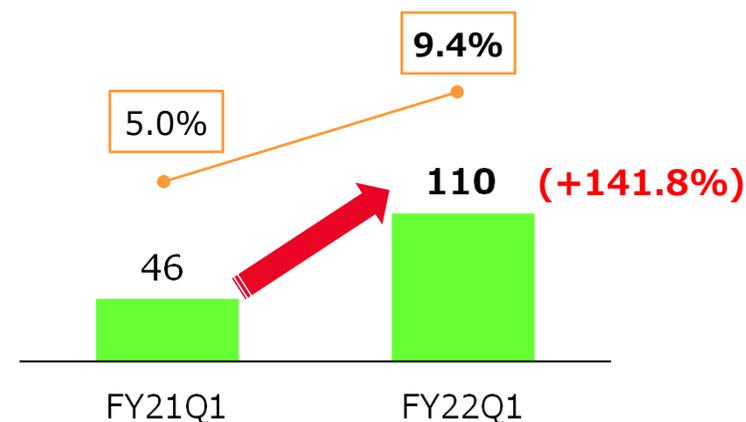
(単位：億円)



事業利益

● 事業利益率 () 前年同期比増減率

(単位：億円)



主な増減要因

- ▶ 産業・車載用部品事業における、半導体製造装置向けファインセラミック部品や車載カメラの需要増
- ▶ 半導体関連部品事業における、5Gや自動車関連市場向けセラミックパッケージ及び有機基板の需要増

- ▶ 戦略製品の生産能力増強のための設備投資を実施したことにより、減価償却費は増加したものの、増収に伴い増益

注：事業利益は各事業セグメントの税引前利益
前年同期比増減率及び事業利益率は百万円単位で算出

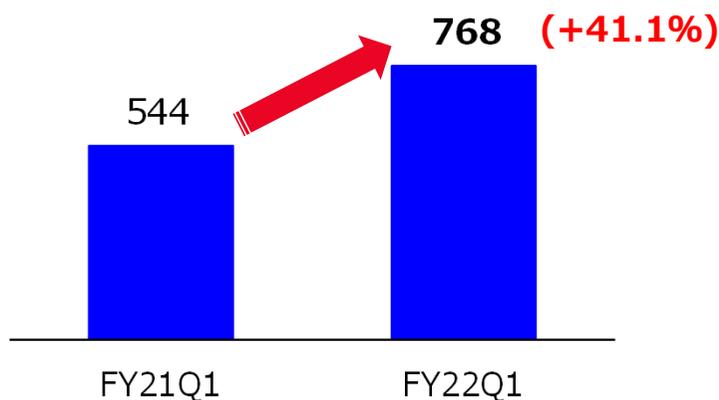
2022年3月期第1四半期 事業セグメント別業績

(2) 電子部品

売上高

() 前年同期比増減率

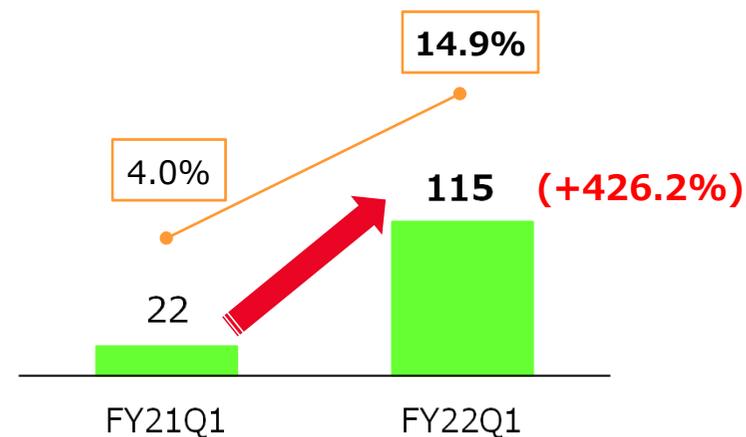
(単位：億円)



事業利益

● 事業利益率 () 前年同期比増減率

(単位：億円)



主な増減要因

➤ 自動車関連市場や産業市場等の回復に加え、5G及び半導体関連市場での需要増により、各種コンデンサやセンサー及び制御部品、並びに水晶部品の売上が増加

➤ 増収や原価低減、並びに製品ミックスの改善により、大幅増益

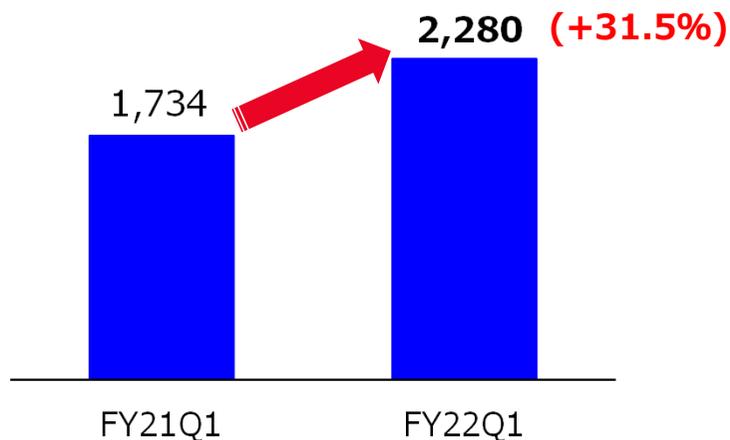
注：事業利益は各事業セグメントの税引前利益
前年同期比増減率及び事業利益率は百万円単位で算出

2022年3月期第1四半期 事業セグメント別業績 (3) ソリューション

売上高

() 前年同期比増減率

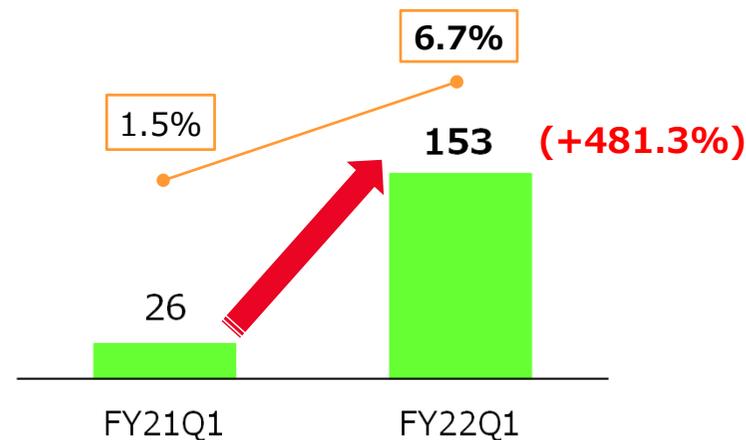
(単位：億円)



事業利益

● 事業利益率 () 前年同期比増減率

(単位：億円)



主な増減要因

- 機械工具事業における、切削工具及び空圧・電動工具の需要回復
- ドキュメントソリューション事業における、プリンターやMFP、消耗品の需要回復

- 増収及び、自動化の推進等により生産性が向上したことから、大幅増益

注：事業利益は各事業セグメントの税引前利益
前年同期比増減率及び事業利益率は百万円単位で算出

2022年3月期 業績予想

(単位：百万円)

2022年3月期予想は 4月公表数値から変更なし	2021年3月期		2022年3月期 予想		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
売上高	1,526,897	100.0%	1,730,000	100.0%	203,103	13.3%
営業利益	70,644	4.6%	117,000	6.8%	46,356	65.6%
税引前利益	117,559	7.7%	160,000	9.2%	42,441	36.1%
親会社の所有者に帰属する当期利益	90,214	5.9%	113,000	6.5%	22,786	25.3%
基本的EPS (円)	248.91	—	311.78	—	62.87	—
設備投資額	117,106	7.7%	170,000	9.8%	52,894	45.2%
有形固定資産 減価償却費	73,811	4.8%	100,000	5.8%	26,189	35.5%
研究開発費	75,457	4.9%	90,000	5.2%	14,543	19.3%
平均為替レート	ドル	106円	105円			
	ユーロ	124円	125円			

(ご参考) 2022年3月期 為替変動による影響額 (前期比)：売上高 約－60億円、税引前利益への影響はほぼなし

注：2022年3月期の基本的EPSは2022年3月期第1四半期の期中平均株式数を用いて算出しています。

2022年3月期 事業セグメント別売上高予想

(単位：百万円)

2022年3月期予想は 4月公表数値から変更なし	2021年3月期		2022年3月期 予想		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	率
コアコンポーネント	424,669	27.8%	455,000	26.3%	30,331	7.1%
産業・車載用部品	135,884	8.9%	145,000	8.4%	9,116	6.7%
半導体関連部品	263,595	17.3%	280,000	16.2%	16,405	6.2%
その他	25,190	1.6%	30,000	1.7%	4,810	19.1%
電子部品	273,002	17.9%	320,000	18.5%	46,998	17.2%
ソリューション	835,213	54.7%	957,000	55.3%	121,787	14.6%
機械工具	193,066	12.6%	209,000	12.1%	15,934	8.3%
ドキュメントソリューション	316,226	20.7%	370,000	21.4%	53,774	17.0%
コミュニケーション	232,739	15.2%	270,000	15.6%	37,261	16.0%
その他	93,182	6.2%	108,000	6.2%	14,818	15.9%
その他の事業	18,169	1.2%	28,000	1.6%	9,831	54.1%
調整及び消去	-24,156	-1.6%	-30,000	-1.7%	-5,844	-
売上高	1,526,897	100.0%	1,730,000	100.0%	203,103	13.3%

2022年3月期 事業セグメント別利益予想

(単位：百万円)

2022年3月期予想は 4月公表数値から変更なし	2021年3月期		2022年3月期 予想		増減	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	率
コアコンポーネント	30,549	7.2%	41,000	9.0%	10,451	34.2%
産業・車載用部品	4,241	3.1%	12,000	8.3%	7,759	183.0%
半導体関連部品	28,260	10.7%	29,000	10.4%	740	2.6%
その他	-1,952	—	0	0.0%	1,952	—
電子部品	23,000	8.4%	40,000	12.5%	17,000	73.9%
ソリューション	37,506	4.5%	74,000	7.7%	36,494	97.3%
機械工具	15,721	8.1%	22,000	10.5%	6,279	39.9%
ドキュメントソリューション	28,759	9.1%	42,000	11.4%	13,241	46.0%
コミュニケーション	14,597	6.3%	12,000	4.4%	-2,597	-17.8%
その他	-21,571	—	-2,000	—	19,571	—
その他の事業	-3,102	—	-15,000	—	-11,898	—
事業利益 計	87,953	5.8%	140,000	8.1%	52,047	59.2%
本社部門損益等	29,606	—	20,000	—	-9,606	-32.4%
税引前利益	117,559	7.7%	160,000	9.2%	42,441	36.1%

ご参考：事業セグメント別 四半期業績推移

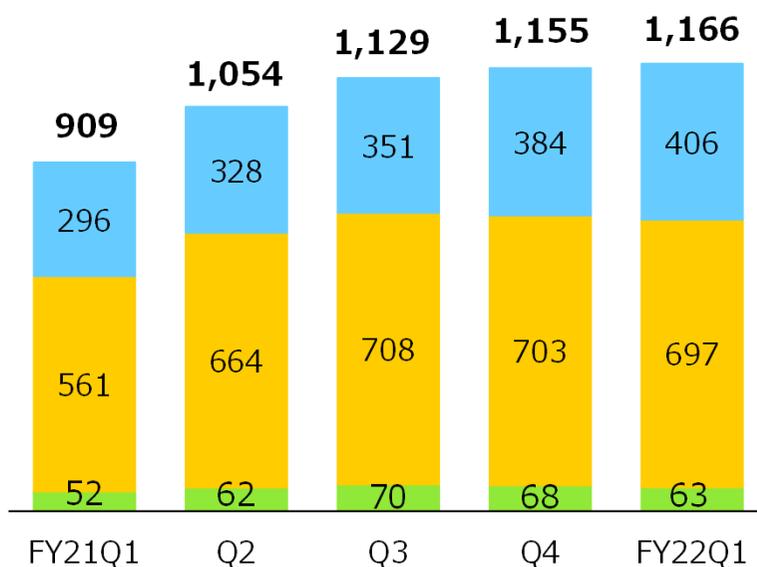
事業セグメント別 四半期業績推移

(1) コアコンポーネント

売上高

(単位：億円)

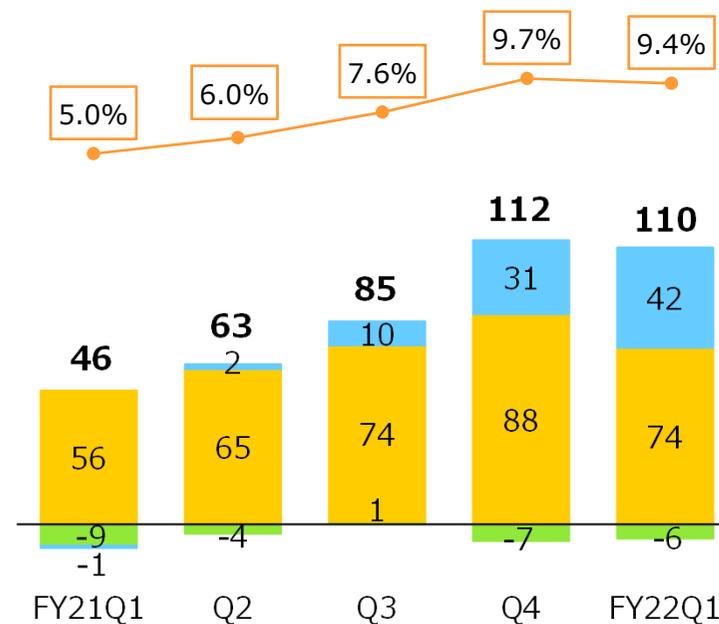
- 産業・車載用部品
- 半導体関連部品
- その他



事業利益

(単位：億円)

● 事業利益率



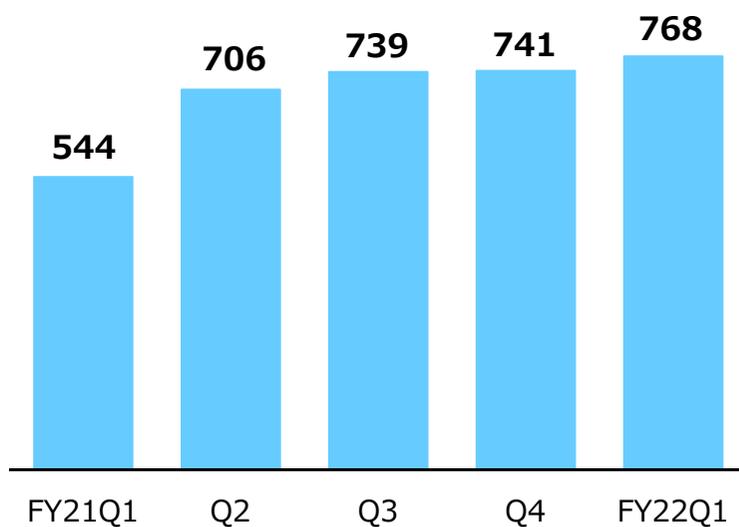
注：事業利益は各セグメントの税引前利益
事業利益率は百万円単位で算出

事業セグメント別 四半期業績推移

(2) 電子部品

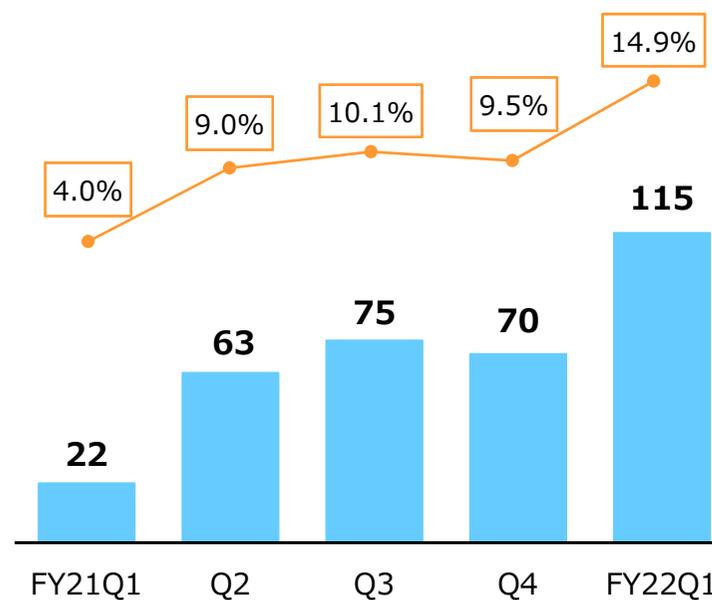
売上高

(単位：億円)



事業利益

● 事業利益率 (単位：億円)



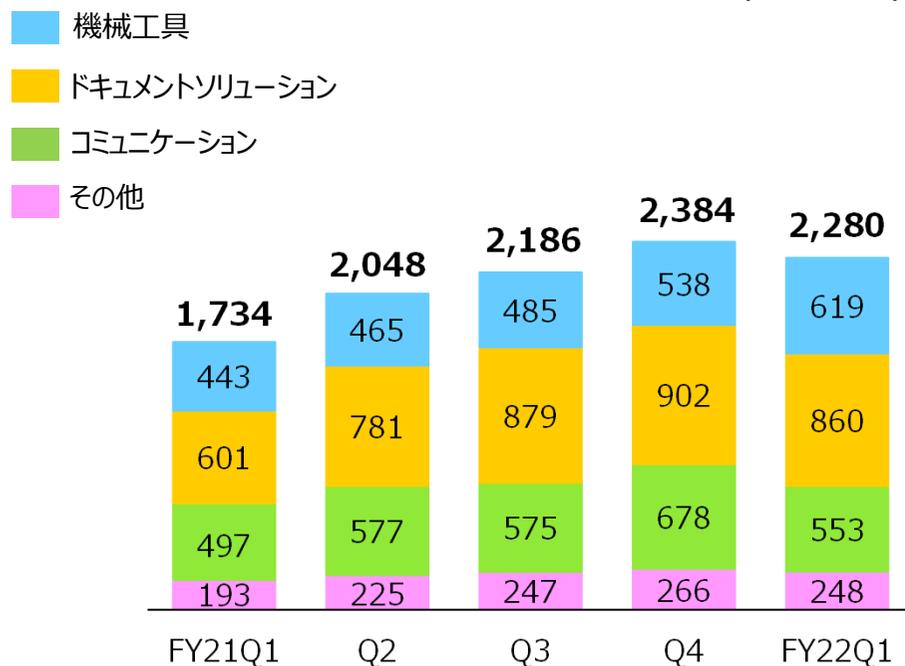
注：事業利益は各セグメントの税引前利益
事業利益率は百万円単位で算出

事業セグメント別 四半期業績推移

(3) ソリューション

売上高

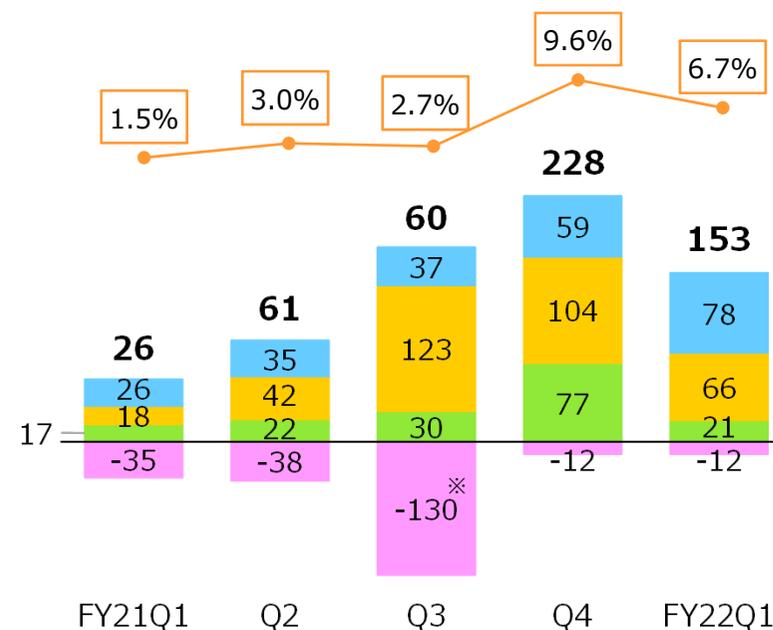
(単位：億円)



事業利益

(単位：億円)

● 事業利益率



注：事業利益は各セグメントの税引前利益
事業利益率は百万円単位で算出

※ スマートエナジー事業において、減損損失115億円を計上

将来の見通しに関する記述等について

この資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて、当社が予想を行い、所信を表明したものであり、既知及び未知のリスク、不確実な要因及びその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は下記を含みますが、これらに限られるものではありません。

- (1) 日本及び世界経済の一般的な状況
- (2) 当社が事業や輸出を行う国における経済、政治、法律面の諸条件の想定外の変化
- (3) 為替レートの変動が当社の事業実績に及ぼす影響
- (4) 当社製品が直面する激しい競争による圧力
- (5) 当社の生産活動に用いられる原材料のサプライヤーの供給能力及びその価格の変動
- (6) 外部委託先や社内工程における製造の遅延又は不良の発生
- (7) 今後の取り組み又は現在進行中の研究開発が期待される成果を生まない事態
- (8) 買収した会社又は取得した資産から成果や事業機会が得られない事態
- (9) 優れた人材の確保が困難となる事態
- (10) サイバー攻撃等により当社の情報セキュリティが被害を受ける事態及びその復旧や維持に多額の費用が必要となるリスク
- (11) 当社の企業秘密及び特許を含む知的財産権の保護が不十分である事態
- (12) 当社製品の製造及び販売を続ける上で必要なライセンスにかかる費用
- (13) 既存の法規制又は新たな法規制への意図しない抵触
- (14) 環境規制の強化による環境に関わる賠償責任及び遵守義務の負担
- (15) 世界的な気候変動に関連する諸課題への対応遅れによるコスト増や企業ブランドの低下を招く事態
- (16) 疾病・感染症の発生・拡大、テロ行為、国際紛争やその他類似の事態が当社の市場及びサプライチェーンに及ぼす影響
- (17) 地震その他の自然災害によって当社の本社や主要な事業関連施設並びに当社のサプライヤーや顧客が被害を受ける事態
- (18) 売掛債権の信用リスク
- (19) 当社が保有する金融商品の価値の変動
- (20) 当社の有形固定資産、のれん並びに無形資産の減損処理
- (21) 繰延税金資産及び法人税等の不確実性
- (22) 会計基準の変更

上記のリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財政状態は、将来の見通しに明示又は黙示される将来の業績、事業活動、展開又は財政状態と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に含まれている将来の見通しについて、その内容を更新し公表する責任を負いません。

THE NEW VALUE FRONTIER



京セラ株式会社